

# たいし 議会 だより 193号

道の駅 近つ飛鳥の里 太子

営業時間 9時～17時

## 令和7年 6月定例会

◆定例会概要

◆6議員が町政を問う(一般質問)

◆議会のうごき

p1～p2

p3～p5

p6

次の定例会は、  
9月に開催されます。  
ぜひ、傍聴にお越し  
ください。

日程については、ホームページ、  
広報無線でお知らせします。

本会議・常任委員会を  
ライブ・録画配信中。  
スマホ・パソコンでご  
覧ください。



第2回定例会が、5月30日に招集され、6月19日までの21日間にわたって開かれました。今定例会では、補正予算、条例改正などについて審議されました。また、一般質問には、6人の議員が登壇し、活発な議論が交わされました。



## 補正予算

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計（第2号）	6076万4千円	71億9478万円
一般会計（第3号）	6136万4千円	72億5614万4千円

### ●一般会計（第2号）

【主な歳出】物価高騰対応重点支援事業 639万7千円（介護保険・障がい福祉サービス事業物価高騰対策支援事業446万4千円／訪問型サービスD事業物価高騰対策支援事業37万6千円／児童福祉施設等物価高騰対策支援事業155万7千円）など

### 質 疑

問 バスのルート変更の内容、実施時期、IC車載器の導入時期、高齢者への対応、新設されるバス停にベンチや屋根の設置は。

答 総合福祉センターへのアクセスについて聖和台を通るルート及び商業施設前のバス停の新設に伴うルート変更、実施時期は令和7年10月を予定。

IC車載器は、10種類のカードによるキャッシュレス払いが可能となるもので、導入は令和8年1月又は2月頃を予定し、高齢者への対応は、今後情報発信や利用者のご意見をききながら進めていきたい。また、新設される商業施設前のバス停については、現時点では停留所案内表示板の設置のみを考えている。

問 こども家庭センターの設置場所、窓口設置、周知時期及び職員配置は。

答 1階フロア正面奥に設置を予定しており、それに伴い、1階執務室の配置換えを行う。窓口設置は令和8年1月、周知はそれ以前から実施する予定。職員については、専門職の会計年度任用職員を複数配置予定。

### ●一般会計（第3号）

【主な歳出】定額減税補足給付金給付事業 6136万4千円

### 質 疑

問 定額減税不足額給付金が支払われる対象者と人数、通知方法、雇用する会計年度任用職員の人数及び契約更新は。

答 対象者は、令和5年の所得に比べて令和6年の所得が減少した人や、令和6年中に扶養親族が増加した人、専従者等、約1,500人を見込んでおり、対象者へは役場から通知を送る予定としている。会計年度任用職員は3名の雇用を予定しており、今回のような短期の事業に関わる募集については、契約更新なしで募集することがある。

## 条例改正

### ●税条例中改正の件

【内容】

○個人住民税

・特定親族特別控除の創設に伴う規定の整備。所得控除における控除すべき金額について、特定親族特別控除額を追加する。特定親族特別控除の創設に伴い、公的年金等受給者の個人住民税申告義務や扶養親族等申告書に係る規定等を整備する。

【施行期日】令和8年1月1日

○たばこ税

・加熱式たばこの課税方式の見直し。加熱式たばこの課税方式が段階的に見直される。紙巻きたばこよりも税負担の水準が低いため課税の適正化を図るもの。

【施行期日】令和8年4月1日

※激変緩和等の観点から実施時期について経過措置を講じる。

第1段階 令和8年4月1日

第2段階 令和8年10月1日

### 質 疑

問 特定親族特別控除が創設されたことは、良くなったのか。

答 大学生世代の子が一定の収入を得た場合でも、扶養者である親の所得控除が段階的に適用されることとなったため、親がこれまで受けることのできなかった控除を受けることができるようになり、納税者にとっては、減税につながる。

### その他

### ●GIGAスクール構想第2期学習者用端末購入事業契約締結の件

【内容】請負金額 5631万100円  
請負者 日本電通株式会社

### ●中学校本館トイレ改修工事請負契約締結の件

【内容】請負金額 6179万5800円  
請負者 株式会社ソトムラ

### 専決処分

### ●税条例中改正の専決処分の件

【内容】

○軽自動車税

・「道路運送車両法施行規則」の一部改正に伴う、原動機付自転車の区分見直し

・「道路交通法」の一部改正に伴う所要の措置

### 質 疑

問 ①任意であることによりは変わらないのか。②個人情報漏洩の危険

性をどう考えるのか。③マイナ免許証と従来の免許証との関係は。④免許証発行に関して太子町がかかわってきたことがあるのか。⑤マイナ免許証を紛失した場合、住民はどうすればいいのか。⑥免許証は即日交付されるのか。

答 ①あくまでも任意。②ICチップの暗号化や暗証番号などセキュリティ機能が備わっており、個人情報漏洩のリスクに対して一定の安全性は保たれていると考える。③マイナ免許証のみの保有、マイナ免許証と運転免許証の双方の保有、従来の免許証のみを保有とする、3種類。④全て公安委員会でやっていた。⑤町でカード再発行手続きを行った後、運転免許試験場で再び免許情報を登録する必要がある。⑥マイナ免許証については即日交付ができない。

### 討 論

【反対】現状、マイナンバーカードを更新した場合、一体化していた運転免許証の情報は受け継がれな

い。マイナ免許証は任意だということ住民に周知することを要望。マイナンバー制度は、政府が国民一人ひとりに生涯変わらない番号をつけ、多分野の個人情報をつぶして利用できるようにすること。プライバシー権の侵害の危険がある。国民の所得・資産・社会保障給付を把握し、国民への徴税強化・給付削減を押しつける制度は、廃止すべきで反対。

【賛成】道路運送車両法施行規則の一部改正に伴う原動機付自転車の区分見直し、道路交通法の一部改正による運転免許証とマイナンバーカードの一体化に伴う措置。上位法令である地方税法等の改正内容やその趣旨を踏まえて実施されたものであり、円滑かつ正確な課税が行えると共に、軽自動車税種別割の障がい者減免申請において不利益を与えないためにも必要。今後も公平公正で適正な課税と住民の利益を損なうことなく、行政サービスの質を維持・向上させることを要望して賛成。

### ●職員定数条例中改正の件

【内容】職員定数の内訳変更。職員の適正配置を行うため、職員の定数について、教育委員会の所管に属する学校及び学校以外の教育機関の職員を15人から8人、町長の事務部局の職員を90人から97人への改正を行うもの。

【施行日】令和7年6月1日

### その他

### ●人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件

【内容】人権擁護委員は5名の内2名の委員が令和7年12月31日で任期満了。再任1名及び新任1名の候補者を推薦する。

上田 哲也氏  
筒井 真澄氏



## 第2回定例会 審議結果一覧表

件 名	審議結果	中村直幸	斧田秀明	岡野秀子	西田いく子	辻本ひろゆき	松井謙昌	村井浩二	早瀬和信	はまち知英	森田忠彦
大阪広域水道企業団議会議員の選挙	当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例中改正の専決処分の件	報告承認	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—
損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の件	報告承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の件	報告承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の件	報告承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
損害賠償の額の決定及び和解に係る専決処分の件	報告承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計予算繰越明許費繰越計算書報告の件	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
職員定数条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
税条例中改正の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の候補者の推薦について意見を求める件	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
GIGAスクール構想第2期学習者用端末購入事業契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
中学校本館トイレ改修工事請負契約締結の件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

各議員の審議結果 ○賛成 ●反対 —議長 ※可否同数の場合は、議長採決



### 防災対策について

やわらかい  
はまち 知英 議員

#### ①防災対策の現状と今後の強化策について

**問** 能登半島地震では初動の混乱や情報遮断、フェイクニュースなど多くの課題が露呈。本町の避難計画の周知、訓練の実施、通信遮断時の対応について問う。

**答** 防災ハザードマップの全戸配布や、Jアラートを使った訓練、防災教育の実施を通じて防災意識の向上を図っている。衛星無線による情報収集、防災行政無線の戸別受信機を整備している。

**要望** 停電時にも使える通信手段の整備・戸別受信機の定期点検や電池交換のルール明確化が必要。訓練の回数だけではなく「質」の向上と住民同士のつながりを重視した防災対策が必要。立派な計画よりも地域の実情に即した「実効性ある計画」を求めた。

#### ②避難所等の整備状況および改善計画について

**問** 避難所等の現状と今後の計画について問う。

**答** 小・中学校体育館の空調設備は来年度工事予定。要配慮者の個別避難計画は関係機関の協力を得て作成を推進。現在26社と災害連携協定を締結し、今後も協力体制の充実を図る。

**要望** 現場の実態や被災地の教訓を反映し「実際に機能する体制」への転換が必要。

避難所が「ある」ことと「実際に避難できる」ことは別であり、「逃げられるか」「たどり着けるか」の視点で整備・運用の見直しを求めた。また、備蓄品の見える化マップなど機能する防災体制への見直しを要望。



### 南河内基礎自治機能充実強化協議会について

たいしにぎわう会  
松井 謙昌 議員

**問** 令和7年4月に設置された南河内基礎自治機能充実強化協議会（充実強化協議会）と令和5年5月に設置された南河内地域2町1村未来協議会（未来協議会）の違い、及び充実強化協議会の立ち上げにあたり、設置目的・協議事項・構成団体などについて、いつ頃、どこからお話があったのか、お伺いしたい。

**答** 令和6年12月に太子町長・河南町長・千早赤阪村長・大阪府が、未来協議会での取組を富田林市長・河内長野市長・羽曳野市長・大阪狭山市長に説明したうえで、より大きな枠組みで将来のあり方や課題への対応策を検討・議論していくため、令和7年度から新たな協議会を設置するので参加を働きかけた結果、羽曳野市と大阪狭山市から賛同をいただき、充実強化協議会が設置された。未来協議会で議論し取り組むこととしたものは、引き続き未来協議会で取り組むこととし、これら2つの協議会

が連携、分担しながら協議し進めていく。

**問** 充実強化協議会と未来協議会での検討内容を「広報たいし」においても、住民の皆さんにわかりやすくきめ細かに情報発信し、理解を得て、ともに考えていくことが何よりも大切と考えるが、いかがか。

**答** 未来協議会の取組にあたり、オープンな議論を行うため、動画配信、町の広報やホームページでの情報発信、住民アンケート、意見聴取を行うなど、議論の双方向化により住民理解の促進に努めている。広報紙への掲載は、一定の制約はあるが一層工夫を行い、充実強化協議会共々、丁寧な情報発信を心がけていく。

**要望** 広域連携の取組で関わりが非常に大きい富田林市には、今後とも充実強化協議会への加入を粘り強く働きかけていくことも必要。町の将来、地域の未来については、住民の皆さんの理解がなければならないので、その理解促進につながるよう取り組んでいただきたい。



### 太子町の環境問題について

公明クラブ  
辻本 ひろゆき 議員

#### ①太子町の環境問題として歩道を覆う雑草の対応は

**問** 私有地内から歩道に伸びる雑草や放置されている空き家周辺の雑草の対応は。

**答** 緊急的な状況にない限り、基本的に土地所有者に適切な管理を指導している。空き家については、台帳を整備し、状況把握に努め、不良状態にあると認めるとき、又なる恐れがあると認められた場合「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、所有者へ改善を指導する。

#### ②太子町の環境及び景観を損なうゴミ・ポイ捨ての現状と対応は

**問** 空き地や道にゴミがポイ捨てされている現状の町としての対応は。また清潔な町づくりを住民が積極的に取り組める工夫を。



**答** これまでから不法投棄は、住民からの通報や職員のパトロールで、現場確認。必要に応じて警察へ通報するなどの対応。個人の意識改革として「太子町環境保全に関する条例」「太子町美しいまちづくり条例」を制定し、住民や事業者の方も含め、環境意識の向上を図るため、広報紙への啓発記事掲載、看板設置など、周知に努めている。

### 軟骨伝導イヤホンについて

#### ①難聴の方への役場窓口の対応について

**問** 音や人の声が聞こえづらくなる難聴をお持ちの方への役場窓口の対応は。

**答** 表情を確認しながら、わかりやすくゆっくり話しかけ、会話スピードにも配慮し対応。「耳マーク表示板」「集音拡聴器」を設置し、会話補助を提供している。

#### ②役場窓口で軟骨伝導イヤホンの導入を

**問** 軟骨に触れるだけで十分な音量で聞こえ、長時間装着でき、音漏れが少ないのが特徴の軟骨伝導イヤホンを町でも活用できないか。

**答** 軟骨伝導イヤホンの多くの利点は理解している。コミュニケーションの選択肢が広がるよう、検討していく。



### 介護崩壊を食い止め安心できる介護保険制度に

日本共産党  
岡野 秀子 議員

**問** 2000年に介護保険が導入されるまで介護費用の50%だった国庫負担が25%になり「保険あって介護なし」が危惧されていた。その後も改善が繰り返され施設入所者の食費・居住費が原則自己負担に。要介護1の大半を要支援に。要支援の訪問介護と通所介護を制度から締め出し、自治体事業に。特養ホームの入所を要介護3以上に限定。利用料1割負担が一定所得以上が2割、現役並み所得は3割に。2024年4月の介護基本報酬改定で、訪問介護の基本報酬を2～3%引き下げたことで、12月末現在、事業者の倒産や休廃業は、過去最多の784社で7割が訪問介護。事業所空白自治体は107市町村、一か所だけは272市町村に。府内の事業所倒産は2024年一年間で73件。全国で最も多い。①介護保険制度の全国的な状況の受け止めは。②訪問介護事業所の実態、介護職員や利用者の声を聴いているのか。③訪問介

護事業所の運営に対し、独自の支援を行っている自治体がある。新潟県村上市は、訪問介護事業所に一般財源を投入し令和6年度から5年度との差額分を補填している。町として独自の支援策を。

**答** ①在宅介護サービス存続への危機感は認識している。事業所にきびしい経営をもたらし、利用者へのサービス提供にも影響がでると危惧する。②種々の会議を通じた情報交換、介護相談員による各事業所への訪問を通じて利用者の声を聴いている。今後より多くの現場の声が届く体制作り、ニーズの把握と必要な介護サービスの提供に努める。③「物価高騰対策緊急支援金」を活用して介護職員の労働条件の改善や事業所の経営改善に寄与する支援策を講じる。介護職員が安心して働ける環境整備を推進し、財政支援など国へ要望する。

**要望** 町として独自の人材対策、処遇改善、経営支援を進めること、以前から求めているゴミ出し支援策を高齢介護課と環境農林課とで知恵を絞ってもらうこと、現場で働く人や利用者の声が届くような10期にむけてのアンケートに取り組むことを要望する。





### 「こども家庭センター」について

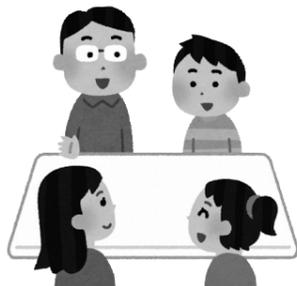
しなが会  
斧田 秀明 議員

**問** 全国で設置が進められる「こども家庭センター」の設置に向けた経過と、大阪府の子ども家庭センターとの役割分担等、太子町の状況について問う。

**答** 全国・本町ともに児童虐待の相談対応件数の増加や子育てに困難を抱える世帯がこれまで以上に顕在化しており、全ての妊婦や子育て世帯を対象に、母子保健と児童福祉の両機能の連携を深め、虐待への予防的対応を行う「こども家庭センター」を教育委員会を含めた関係部署にて協議を重ね令和8年1月に設置を予定。大阪府の子ども家庭センターは、より高度な専門性や広域性をもって本町が対応できない困難な事象に対応し、全ての妊婦や子育て世帯に身近に関わる本町と連携することで、必要な支援を早期に把握し、切れ目なく、そして漏れなく地域の実情に応じたきめ細やかな支援を提供できる体制を構築している。

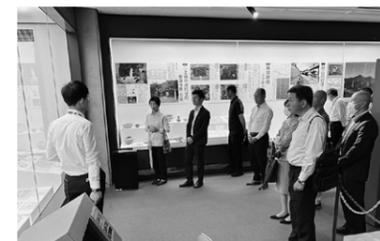
**問** 太子町が目指す新たな取り組み（こども支援施策・予防的施策）について問う。

**答** 子育てを支援する適切なサービス提供体制や地域全体で子どもを育てる意識の醸成、遊び場や居場所づくりの推進、こども・子育て世代の健康増進と発達支援、こどもの貧困対策やヤングケアラーへの支援体制が必要と考え取り組む。また、多様なニーズに対して、教育委員会を含む関係部署と調整し、既存の重層的支援体制整備事業やこどもの学びと成長（非認知能力向上）応援総合事業とのネットワーク化を進め対応する。さらに新規施策の親子形成支援事業や、子育て世帯訪問支援事業の拡充など地域資源を充実します。支援するためには、18歳までのこどもとその家庭に合わせて、個別サポートプランを作成する。最後に、人材の確保として、専門性と実務経験を有する「統括支援員」を配置するため、正職員の保健師の増員と、会計年度任用職員2名を増員する予定。また「こども家庭センター」を設置し、1階フロア全体の課題を、利用者の利便性を考慮し全面的に改善する。



### 視察

6月5日、福祉文教常任委員会で、老朽化改修工事を終えた『竹内街道歴史資料館』と、今後のあり方が検討されている『道の駅 近つ飛鳥の里 太子』を視察、見学しました。



### 全国町村議会 議長・副議長研修会

5月27日、東京国際フォーラムにおいて『町村議会議長・副議長研修会』が開催され、村井副議長が参加しました。

### 磯長小学校議場見学

6月26日、磯長小学校（3年生）の議場見学がありました。初めての議場に最初は少し緊張していましたが、次第に慣れ、活発に質問がありました。



### JIAM研修（令和7年4月～6月開催分）

たいしにぎわう会  
松井 謙昌 議員

6月30日～7月2日『社会保障・社会福祉』をテーマとする研修に参加し、社会保障、生活困窮者支援、介護予防、子育て支援等に関する講義や事例を通じて地域における諸課題を学ぶことができました。

なごみの会  
早瀬 和信 議員

4月21日～22日に『市町村長等・議会議員特別セミナー』、5月7日～9日に『新人議員のための自治の基本』を受講しました。今後の議員活動に活かせる具体的な知見を得ることができました。

やわらかい  
はまち 知英 議員

4月21日～7月2日の間に、あわせて12日間の研修に参加しました。議員としての責務を果たすため、防災・自治体決算・社会保障・福祉制度の基本を幅広く学びました。今後の議会活動、地域づくりに活かしていきたいと考えています。



### 全員協議会

5月30日の全員協議会におきまして、陳情・要望書の取り扱いについて審議しました。採決結果をお知らせします。



### 全住民に保険証の発行を

日本共産党  
西田 いく子 議員

**問** 国は、2024年12月2日から健康保険証の新規発行を停止。国民皆保険制度のもと有効期限が切れる前に健康保険証が郵送されてきたが、今後、申請漏れなどが発生しないか心配。国保加入者全員に従来の保険証を届けることはできないのか。保険証を発行する費用負担はいくらだったのか。

**答** 7月にマイナ保険証利用者には資格情報のお知らせ、カードを取得できない・健康保険証利用を希望しない方には資格確認書を郵送する。資格確認書は、翌年度以降も有効期限が切れるまでに被保険者自身が申請などの手続きなく本町から郵送を行う予定。マイナンバーカードと健康保険証の一体化は原則であり、強制されるものではない。被保険者証更新には約69万円のコスト負担。

**要望** 69万円あれば発行できる。加入者全員に資格確認書を届けることを要望する。

### 農業を守り発展を

**問** いま、農業、農家を守らなければ、太子町の豊かな自然になう大切な田畑が消えてしまうのではと危惧する。道の駅を拡張しても売れる農作物が無い状況になってしまったのか。農業、農家を守るために全農家の声を聞き、町独自の補助制度創設を。

**答** 農林水産業費はR7年度の歳出合計70億9732万円に対し1億121万円。全体の約1.4%。遊休農地等の活用促進補助制度の創設に基づき、調査研究を行い、本町にあった施策の検討を進める。農地維持のために多くの機械が必要。効率が悪い中、後継者が見つからない。地域全体で農地を守っていくことが求められており、農地をいかにして守っていくか、真剣に考えなければならないという問題だと考える。

**要望** 日本国民の命と暮らしを守る、安全保障の第一である安全・安心の食料を生み出す太子町の農業を守り発展させることを要望する。



豊かな自然を担う農業を守り発展を

件名	提出者(団体)	中村直幸	斧田秀明	岡野秀子	西田いく子	辻本ひろゆき	松井謙昌	村井浩二	早瀬和信	はまち知英	森田忠彦
バス運転手不足の解消に関する意見書(案)	日本共産党 太子町議会議員団 幹事長 西田いく子	<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
介護保険に対する国庫負担割合の抜本的引き上げを求める意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
従来の健康保険証の新規発行を再開することに関する意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
食料自給率を引き上げ、米の安定供給に責任ある抜本的な政策転換を求める意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
消費税の減税を求める意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					
公益通報者保護法の適切な改正を求める意見書(案)		<input type="checkbox"/>	欠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	—					

各議員の賛否 ○賛成 □継続審議 — 議長 ※賛否が同数のため議長採決